

インパクト・インベストメント

～未来を創る投資～

大和証券では、資金を必要としている人と資金を持つ人をつなぐという証券会社本来の役割を通じ、投資家の皆さまとともに、貧困をはじめとする様々な問題の解決に寄与していきたいと考えております。

インパクト・インベストメント

欧米では今、“インパクト・インベストメント (Impact Investment)” という新たなトレンドが動き出しています。インパクト・インベストメントとは、経済的な利益を生み出すと同時に、貧困や環境などの社会的課題に対して、より直接的で即効性のある解決を目指す投資のことです。投資リターンのみならず社会的リターンも期待できる、新しい投資のかたちであるといえます。日本ではまだ馴染みのある言葉とはいえませんが、「良いことをしながら良い投資をしたい」と考える人は増えていくのではないのでしょうか。

社会的課題の解決に向けて -大和証券の取り組み-

大和証券ではこれまで、途上国の子どもたちへの予防接種活動を支援する『ワクチン債』、調達資金をマイクロファイナンス（貧困層向け小規模金融サービス）に活用する『マイクロファイナンス・ボンド』、水問題対策に取り組むプロジェクトを支援する『ウォーター・ボンド』など、社会貢献につながる金融商品を販売してきました。今回の『エコロジー・ボンド』は、気候変動を防ぐために重要な分野であるエネルギーに焦点を当てた債券です。今後も、こうしたインパクト・インベストメント商品の開発・販売に積極的に取り組んでいきます。

大和証券コールセンター ☎ 0120-010101

- 注文受付時間・・・平日9:00～18:00（※お申込み最終日のみ、11:00まで）
- 平日 8:00～22:00以外の時間帯および土、日、祝日は、資料請求のみの受付となります。

本債券はインターネット（オンライントレード）でも取り扱いをしております。 **大和証券ホームページ www.daiwa.jp**



本債券はポイントプログラムの対象商品になります。詳細は大和証券 本・支店、または、コールセンターへお問合せください。

目論見書のご請求・お申込は・・・

大和証券

Daiwa Securities

商号等 大和証券株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号
 加入協会 日本証券業協会、社団法人 日本証券投資顧問業協会、
 社団法人 金融先物取引業協会



エコロジー・ボンド

欧州投資銀行 2013年5月29日満期南アフリカ・ランド建債券



期間 約**3年** **利回り** 年**6.68%**
(注)利回り・利率は南アフリカ・ランドベースです。(為替の考慮をしておりません)
課税後利回り 年**5.344%**
 お申込みの際は「目論見書」をご覧ください。

売出要項

- 【利率】** 年6.68%
- 【売出価格】** 額面金額の100%
- 【お申込単位】** 額面金額
1万南アフリカ・ランド単位
- 【売出期間】** 2010年5月11日
～2010年5月19日
- 【受渡日】** 2010年5月21日
- 【利払日】** 毎年5月・11月の
各29日/年2回
- 【償還日】** 2013年5月29日
- 【格付】** Aaa(ムーディーズ)/
AAA(S&P)

エコロジー・ボンドのしくみ

エコロジー・ボンドは、地球温暖化などの気候変動を防ぐことを目指す債券です。EIBは調達した資金を使い、地球温暖化対策の柱となる再生可能エネルギーやエネルギー効率化プロジェクトを支援します。皆さまからご投資頂いた資金は、EIBを通じて、気候変動という世界が直面している問題の解決に活用されるのです。



- 本債券の発行により調達された資金は、EIBの一般融資ポートフォリオとは別管理され、四半期ごとにプロジェクトへの融資金額が拠出されます。
- 本債券の元利金は、EIBの信用力のみに基づいて支払われるものであり、対象となるプロジェクトへの投融资の結果に直接の影響を受けるものではありません。

ご投資にあたってのリスク等

- 本債券を円換算した価値は、利金・償還金として支払われる外貨の円に対する為替水準により上下いたしますので、これにより投資元本を割込むことがあります。
- 本債券の価格は金利変動等により上下いたしますので、償還前に売却する場合には、投資元本を割込むことがあります。
- 本債券の発行者および利金・償還金として支払われる外貨発行国の経営・国情・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割込むことがあります。

手数料など諸費用について

- 本債券をお買付けいただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。
- 本債券は外貨建債券ですので、外国証券取引口座設定申込書を取りかわし、口座管理料〔通常、年間3,150円(税込)〕を別途お支払いいただきます。

ご投資にあたっての留意点

- 本表示は当該債券の発行に関する情報をお知らせするものです。お申込みにあたっては当該債券の詳細について記載した目論見書をお渡しいたしますので、あらかじめご覧のうえ、ご購入をご検討ください。
- 販売額に限りがありますので、売切れの際はご容赦ください。
- 売出期間中はご購入のお申込みをキャンセルすることができます。その場合、発生する為替差損はお客様の負担となります。
- お取引にあたっては、「外貨建債券の契約締結前交付書面」をお読みください。

大和証券
Daiwa Securities

エコロジー・ボンド特集HPIはこちら

www.daiwa.jp/ecology

世界の近代化・工業化に伴い、エネルギーの需要が拡大しています。

エネルギー源の多くは石油や石炭といった化石燃料です。

世界各国では今、化石燃料の利用増加に伴う地球温暖化など、気候変動が問題となっています。

このような中で注目されているのが、太陽光や風力などの再生可能エネルギーであり、

コージェネレーションなどのエネルギー効率化です。

エネルギー源を化石燃料から再生可能エネルギーへと移行し、

エネルギー効率の改善をはかる、こういったエネルギー改革は重要な課題なのです。

エネルギー分野の発展は、地球に優しい経済発展を取り戻すことができると考えられています。

©EIB photographic library

気候変動に対する 欧州投資銀行の取り組み

気候変動対策事業に対する最大の国際融資機関といえるのが、欧州投資銀行(以下、EIB)です。持続可能で競争力のある安全なエネルギーへの融資、それがEIBの主な目的の1つです。

EIBは、EU域内のエネルギープロジェクトへの融資のうち、最低20%を再生可能エネルギー分野に充てるという目標を掲げており、2009年には約40億ユーロの融資を実施しました。また、エネルギー効率化への投資も拡大させており、2009年の融資額は10億ユーロの水準に達しました。EU域外においても、再生可能エネルギーおよびエネルギー効率化の分野への支援を拡大しようとしています。

EIBは、2010年の融資プロジェクトの20%を、気候変動対策関連プロジェクト向けの融資とすることを目標に掲げています。

再生可能エネルギー

風力、水力、太陽光および地熱等、自然現象から得ることのできるエネルギーです。一度利用しても再生が可能であり、また枯渇しないため半永久的に利用できます。二酸化炭素等を排出する化石燃料に比べて、よりクリーンなエネルギー資源です。

エネルギー効率化

エネルギー効率の改善は、エネルギー消費量の削減や省エネにつながります。例えば、地域熱供給や熱電併給(コージェネレーション)、建物の断熱、送配電におけるエネルギーの損失削減、エネルギー効率を改善できる設備への交換等があります。



フランス

Case 1
French Republic

ポワトゥー＝シャラントの太陽光発電

2009年、EIBはフランスのポワトゥー＝シャラント地域における太陽光発電によるエネルギー生成への投資を支援するために、融資の枠組みを提供しました。本事業は、2008年から2012年にかけて65MWの発電能力を備えた太陽光発電設備を公共の建物に設置することを目的とした地域計画に役立ちます。



©EIB photographic library



トルコ

Case 2
Republic of Turkey

オスマニエの風力発電基地

2009年、EIBはトルコの風力発電プロジェクトに3千万ユーロを融資しました。風力発電基地はトルコ南部に位置するオスマニエに建設され、135MWの発電能力があります。本プロジェクトにより経済的かつ持続可能な風力資源(=再生可能エネルギー)を利用した電力を提供でき、トルコで急速に増える電力需要を満たすことが可能となります。



©EIB photographic library

写真はイメージです。

欧州投資銀行とは？

- 欧州投資銀行(European Investment Bank、以下EIB)は、EUに長期資金を提供する金融機関として、1958年に設立された国際機関です。
- EIBの加盟国は、EUの加盟国と同一であり、27カ国となっています。(2010年4月現在)。
- EIBの役割は、様々なプロジェクトへの融資を通じて、EU加盟諸国の統合や均衡のとれた発展、および経済的・社会的結束に貢献することにあります。
- EIBは、質の優れた資産、強固な資本基盤、加盟国からの支援、堅実なリスク管理、そして健全な資金調達戦略の裏付けにより、最高格付であるAAAを付与されています。



©EIB photographic library